

港区長 殿

2020 年 3 月 31 日

令和元年度第三者評価結果報告書

〒153-0063

住所 東京都目黒区目黒2丁目10番
5の101号

電話番号 03-3495-4283

評価機関名 特定非営利活動法人
関東シニアライフアドバイザー協会

代表者氏名 栗原 誠 印

下記のとおり評価を行ったので報告致します

記

| 評価者 | 評価調査者氏名 | | |
|-----------|------------------|-------|------------------|
| | (1) | 藤田 能成 | |
| | (2) | 山田 俊明 | |
| | (3) | 山田 紀子 | |
| | (4) | | |
| 対象事業所 | 放課GO→クラブあざぶ | | |
| 評価実施期間 | 2019 年 7 月 11 日 | ～ | 2020 年 3 月 31 日 |
| 利用者調査実施時期 | 2019 年 9 月 26 日 | ～ | 2019 年 10 月 31 日 |
| 訪問調査日 | 2019 年 11 月 28 日 | | |
| 評価合議日 | 2019 年 11 月 28 日 | | |
| 評価結果報告日 | 2020 年 3 月 31 日 | | |

総 評

◇特に良いと思う点

- 小学校・地域・関係機関との連携を深め子どもが地域に根付く活動に取り組んでいます

学校関係者、PTA、保護者、地域住民、商店街、麻布地区総合支所、近隣施設、ボランティアとの連携を大事にした運営に取り組んでいます。外部講師の協力を得て実施している「茶道教室」と保護者・小学校の先生方を招待する「お茶会」、近隣大学の学生ボランティアの協力で開催する「音楽クラブ」、近隣施設と地元商店街の協力を得て近隣4施設と共同開催している「ハロウィンパレード」、地域有志・保護者の「子どもの“送りお手伝い”サポーター推進」など、地域に密着した活動を通じて当施設と子どもが地域に根付くように取り組んでいます。

- 子どもの意見を大切にした運営を行っています

守るべき決まりは、子ども達に分かるよう室内に掲示して確認出来るようにしています。玩具がおいてある場所には写真を掲示して、元の場所へ片付けやすいように工夫しています。学期毎に行われる子ども会議では、子どもの発想やアイデアを聞くことで、ルール作りやイベントの内容に反映させています。当施設は、学校から2部屋を借りて活動をしているため、休憩できるふれあいスペースはありませんが、特別な配慮が必要な子どもが落ち着かない時などは、パーティションを使って仕切りを作り対応しています。誕生日やイベント時には、多目的ホールを借りて活動の場を作っています。

◇更なる改善が望まれる点

- 地域や施設内の安全確認を子どもたちと一緒に行うことが望めます

現在、六本木一帯に大規模な工事が行われているため、工事場所を室内に掲示し、注意を呼び掛けるようにしています。また、施設は学校内の2つの教室を使用しているため、子どもたちの生活の場としては使いづらい環境にあります。子ども会議や帰りの会などで、子どもたちと実際の写真などを使って話し合いながら、施設内や地域の安全について確認をするなど、子どもたちが自ら考え自分自身で危険を回避できるような取り組みが望めます。

- 日々の記録の書式の検討をするなど、情報共有に工夫が期待されます

子どもの状況や様子は、毎日の職員ミーティングを丁寧に行い、ミーティングノートで共有されるように取り組んでいますが、ミーティングノートは書式が決まっていません。打合せの内容については、職員によって書き方が異なるため、一日の流れや特記事項、ヒヤリハット、連絡事項などが分かりにくくなっています。業務日誌を活用して、一日の全体の流れを職員の誰もが確認でき、振り返れるような工夫が期待されます。

詳細講評

評価基準

- | | |
|---|--------------------|
| a | 評価項目を実施している |
| b | 評価項目を実施しているが十分ではない |
| c | 評価項目を実施していない |

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

| 通番 | 評価項目 | 評価 | コメント |
|----------------------|-------------------------|----|--|
| (1) 理念、基本方針が確立されている。 | | | |
| 1 | ① 理念が明文化されている。 | a | 「子ども達が安全に楽しく過ごせ、保護者から安心、信頼される放課後の環境を提供し、子ども達の健全育成・子育て支援に資する放課後事業を推進する」ことを理念に基本方針を掲げ、運営マニュアル、放課GO→利用案内、学童クラブ利用案内に明文化しています。 また、業務終了ミーティング時の安全チェックリストや退出時のチェックリストにも理念や基本方針が記載され、職員も日々目で見て確認が出来るようになっていいます。 |
| 2 | ② 理念に基づく基本方針が明文化されている。 | a | |
| (2) 理念や基本方針が周知されている。 | | | |
| 3 | ① 理念や基本方針が職員に周知されている。 | a | 運営マニュアルには理念や基本方針が記載され、年度初めには修正箇所を赤字にして職員に配布し、読み合わせを行っています。新規に配属された職員にも運営マニュアルを配布し、周知しています。利用者には、新1年生の学校説明会の中で伝えたり、放課GO→室内に明記することで伝えていいます。また、年2回開かれる協議会では、小学校校長はじめ、PTA会長、地域の方が参加し、活動報告や事業計画書に記載されている理念と基本方針を読み上げています。 |
| 4 | ② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。 | a | |

I-2 計画の策定

| | 評価項目 | 評価 | コメント |
|-----------------------------|----------------------------|----|---|
| (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | | | |
| 5 | ① 中・長期計画が策定されている。 | a | 教室から見える範囲で六本木一帯に大規模工事が行われており、今後地域住民や子どもが増える可能性が高くなっています。現在教室を2部屋使っていますが、地域の変化していく状況を踏まえ今後利用する子どもが増えた場合の事も考慮し、毎月リーダー・サブリーダー会議を開き、施設4校で交流を含めた検討をし、計画が策定されています。 |
| 6 | ② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 | a | |
| (2) 計画が適切に策定されている。 | | | |
| 7 | ① 計画の策定が組織的に行われている。 | a | 区内のリーダーが集まるリーダー会議や法人本社のスーパーバイザーも出席する区統括リーダー会議での意見交換で事業環境を把握し、年度末に行われる協議会の次年度事業計画案への意見も参考に計画が策定されています。月例ミーティングにて職員に計画を報告し、見直しが行われています。利用者には分かりやすく毎月の放課GO→クラブだよりや港区のホームページを通して説明・周知しており、職員はおたよりを配布する前に、今一度計画を見直し、配布するように努めています。 |
| 8 | ② 計画が職員や利用者等に周知されている。 | a | |

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

| | 評価項目 | 評価 | コメント |
|----------------------|----------------------------------|----|---|
| (1) 管理者の責任が明確にされている。 | | | |
| 9 | ① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。 | a | 毎年改定される運営マニュアルには、管理者の役割や一般指導員の役割が明記されています。遵守すべき法令などを正しく理解するために研修が大切と考え、本社研修ではリーダー・サブリーダー・一般指導員等役割に応じた研修を年2回設けています。研修では、アレルギー対応や特別な配慮が必要な子どもへの対応、不審者対応等様々な研修を行い、知識やスキルを獲得すると共にサービスの質の向上も目指しています。 |
| 10 | ② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。 | a | |
| 11 | ① 質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。 | a | リーダーやサブリーダー、一般指導員等役割に応じた様々な研修を実施し、年に2回振り返りシートを使って自身で振り返りを行ったり、シートを基にヒアリングを実施して適切な評価をしたりして、給与へ反映するようにしています。また、国家資格である保育士資格の取得を目指してアカデミーを立ち上げ、取得者には給料アップ等待遇面での考慮を行い、職員のモチベーション維持や意欲の向上にも積極的に取り組んでいます。 |
| 12 | ② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。 | a | |

II 組織の運営管理

II-1 経営状況の把握

| | 評価項目 | 評価 | コメント |
|-------------------------|------------------------------------|----|---|
| (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 | | | |
| 13 | ① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。 | a | 事業を取り巻く環境は、年2回小学校校長・副校長、PTA会長、地域代表、港区職員等が集まる協議会や、その直前に開催されるボランティアのサポーター懇談会、年2回開催される地域懇談会から多くの情報を得るようにしています。本社からは、年1回リーダーが変更になった施設に内部監査を入れるようにして、適切なサービスや運営が行われているかを評価し、改善や見直しに繋がるように取り組んでいます。 |
| 14 | ② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。 | a | |
| 15 | ③ 外部監査が実施されている。 | a | |

II-2 人材の確保・育成

| | 評価 | コメント |
|----------------------------|----|--|
| (1) 人事管理の体制が整備されている。 | | |
| 16 | a | 全ての職員が安心して働けるよう、本社では就業環境の整備に力を入れています。統括リーダーは少しの変化にも対応できるように、常に現場職員とコミュニケーションを取り、気軽に連絡が取れるような関係づくりに努めています。また、年2回全職員に対してヒアリングを実施し、年度末には人事異動を含めた職員の希望を出来るだけ叶えられるように取り組んでいます。考課シートを活用して日々の勤務態度やスキル、資格取得等の評価を行い、年2回支給される賞与時の査定として反映させるようにしています。 |
| 17 | a | |
| (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 | | |
| 18 | a | 統括リーダーが全職員とヒアリングを行う際、職員の就業状況や意向を聞いて、改善点があれば早期に解決することで職員が安心して働き続けられる職場の環境づくりに努めています。メンタル面では、法人が導入しているセーフティーネットがあり、24時間体制で職員からの相談を受け付ける環境を整えています。福利厚生の方では、健康診断と希望者にはストレスチェックも実施、また保育アカデミー事業を行い、職員の質の向上に向けたスキルアップ講座を毎月開催しています。 |
| 19 | a | |
| (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | | |
| 20 | a | 研修への積極的な参加を求める内容が明記されたパーソナルフォスター「児童指導員に求められること」を職員に配布し、施設内にも掲示をしています。研修計画は毎年年間単位で策定されていて、計画に基づいて取り組みを行っています。本社研修は、職位別・テーマ別・危機管理・個人情報研修に分けて希望者を募り実施しています。研修には普通救命講習等も含まれており、常勤職員は上級救命講習を受講することで緊急時の対応や安全管理の意識も高めています。研修後にはアンケートを集計し、研修を受けた職員は報告をして他の職員にも情報を周知しています。また、仕事開始前や年度初めには運営マニュアルの読み合わせをしたり、終業前研修時には児童指導員に求められることを読み合わせをして、日々の業務に当たっています。 |
| 21 | a | |
| 22 | a | |

II-3 安全管理

| | 評価項目 | 評価 | コメント |
|--------------------------------|---|----|--|
| (1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。 | | | |
| 23 | ① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。 | a | 港区放課GO→クラブ緊急メール配信サービスに登録をお願いし、緊急時には利用者にメールが届くように整備されています。学校からの緊急メール配信には、放課GO→クラブの状況も伝えてもらうように連携して情報提供を行っています。また、登録時には子どもの状況や食物アレルギー等を丁寧に聞き取って把握するようにしています。各種感染症等の予防や対応、緊急時の対応についてはマニュアルを整備して、すぐに確認できる場所に保管しています。 |
| 24 | ② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。 | a | |

II-4 地域との交流と連携

| | 評価項目 | 評価 | コメント |
|--------------------------|-------------------------------------|----|--|
| (1) 地域との関係が適切に確保されている。 | | | |
| 25 | ① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。 | a | 近隣の4施設合同でハロウィンパレードやドッジボール大会、ニューイヤーコンサートを実施するなど、年間を通じたイベントを総合支所や学校、地域住民、保護者などの協力のもとで行うなど地域との関係づくりを積極的に行っています。PTAの行事や地域懇談会にも参加して交流を図っています。学校との連携を一番に考えて、放課GOの13周年行事には、校長、副校長、担任の先生にも参加してもらい、子どもたちに喜ばれました。ボランティアも積極的に受け入れ、手話教室や茶道教室を実施したり、音楽クラブの発表会では地域の大学生の伴奏で行われています。 |
| 26 | ② 事業所が有する機能を地域に還元している。 | a | |
| 27 | ③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。 | a | |
| (2) 関係機関との連携が確保されている。 | | | |
| 28 | ① 必要な社会資源を明確にしている。 | a | 麻布地区管内学童クラブ情報交換会には毎月出席して、地域や他の施設の情報を得ています。近隣の保育園には入学前に情報交換を行い、必要な情報は副校長や養護教諭と共有できるようにしています。地域の子ども関連施設やイベントなどのパンフレットも用意され、近隣の病院のリストを掲示するなどしています。近隣の4施設や、港区麻布地区総合支所管理課、子ども家庭支援部子ども家庭課など関係機関との連携は積極的に行っています。 |
| 29 | ② 関係機関等との連携が適切に行われている。 | a | |
| (3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。 | | | |
| 30 | ① 地域の福祉ニーズを把握している。 | a | 毎月一回行われている麻布地区管内学童クラブ情報交換会に参加して、施設に対する要望や地域ニーズの把握に努めています。地域協力者やPTAの方々によるサポーター制度が導入され、懇談会も開催して、地域の情報の共有を図っています。近隣4施設合同の交流イベント参加したり、ほのぼの作品展へ子どもの作品を出展して、子どもたちと一緒に見に行く機会を設けるなど地域行事への取り組みが活発に行われています。毎月のおたよりは地域住民や近隣施設にも配布しています。 |
| 31 | ② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。 | a | |

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

| | 評価項目 | 評価 | コメント |
|----|--|----|--|
| | (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 | | |
| 32 | ① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。 | a | 子ども達が安全に楽しく過ごせ、保護者からも安心して信頼されることを大切にしています。新一年生の説明会では、おたよりと利用申込書を配布して説明する時間を設けています。夏休み前と3月には保護者会を実施して、日々子どもたちの活動内容やイベントの様子を説明しています。また、安全のための避難訓練の実施、不審者対応訓練が実施されています。利用者のプライバシー保護に関しては、個人情報に関する研修と3か月に一回スーパーバイザーによる監査が実施されています。 |
| 33 | ② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。 | a | |
| | (2) 利用者満足の向上に努めている。 | | |
| 34 | ① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。 | a | 入会前には、保護者面談や入会説明会を行うことで、子どもや保護者が安心して利用できるようにしています。年二回の保護者会を開催し、子どもの様子を伝えたり保護者からの意見や要望を聞く機会を設けています。学期に1回「子ども会議」を開いたり、11月には子どもの個人面談を行うことで子どもの声を日々の運営に取り入れられるようにしています。年2回開催される協議会の前には、サポーター懇談会を実施し協議会にサポーターの意見が反映されるように取り組んでいます。また、要望や意見は日々の活動プログラムや行事イベント企画の見直しに活用されています。 |
| 35 | ② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。 | a | |
| | (3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。 | | |
| 36 | ① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。 | a | 利用更新申込時の保護者面談を丁寧に行うことで、話しやすい雰囲気づくりや保護者とのコミュニケーションが円滑にできることを目指しています。連絡帳の記入や電話連絡があったときやお迎えの時などには、積極的に職員の方から働きかけることで、保護者が相談しやすい関係づくりを行っています。普段から相談しやすい環境づくりをしているため、意見箱を用意していますが、ほとんど利用されていないようです。保護者や子どもから意見や要望があった時は統括リーダーに報告し、内容によっては統括リーダーから麻布地区総合支所と本社へ報告されています。また、近隣4施設のリーダー会議と毎月実施されている統括リーダー会議でも報告され、迅速に対策が検討されるように取り組んでいます。 |
| 37 | ② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 | a | |
| 38 | ③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。 | a | |

III-2 サービスの質の確保

| 評価項目 | 評価 | コメント |
|---|----|---|
| (1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。 | | |
| 39 ① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。 | a | 毎月実施している近隣4施設リーダー・サブリーダー会議や統括リーダー・スーパーバイザー・役員が参加する月二回の統括リーダー会議では、それぞれの施設の活動状況の報告や情報提供を行い、情報共有ができる場となっています。また、区の担当者が出席して開催される協議会においては施設が取り組むべき課題が明確にされています。イベントを行うときには、実施担当者を決めることで、責任を持って実施できるように取り組んでいます。担当者は、毎月実施される月例ミーティングでイベント計画と改善策等の進捗状況を発表して、課題に沿ったサービス対応に取り組んでいます。日々の活動記録やイベントの様子は業務日誌に記録して、月末に麻布地区総合支所担当者へ提出しています |
| 40 ② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。 | a | |
| 41 ③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。 | a | |
| (2) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。 | | |
| 42 ① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。 | a | 毎月のプログラムは計画書が作成され、実施後は報告書を作成して、月例ミーティングで振り返り、見直しを行っています。業務日誌は統括リーダーへ毎日提出されており、月次の業務実施報告書は麻布地区総合支所担当者へ毎月提出されています。年2回の保護者会では、活動内容の報告をし、保護者の意見や要望を聞く機会にもしています。 |
| 43 ③ 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。 | a | |
| (3) サービス実施の記録が適切に行われている。 | | |
| 44 ① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。 | b | 日々の運営状況は業務日誌に記録されています。日常と違う様子が見られた際には統括リーダーに報告し、迅速に対応できるように努めています。施設で行われる月例会議では、子どもの様子で気になっていることやイベントの報告や振り返りを行い、次回に活かせるようにしています。子どもの状況や様子は、毎日の職員ミーティングやスタッフノートで共有されるように取り組んでいますが、ミーティングノートは書式が決まっていなため、情報の共有ができるような工夫が望まれます。利用者に関する個人情報や記録類は鍵のかかる書庫で管理されています。また、アレルギーや写真掲載や掲示、その他の個別に留意すべき点については、入会時と必要時に保護者に確認しています。 |
| 45 ② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。 | a | |
| 46 ③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。 | b | |

III-3 サービスの開始・継続

| 評価項目 | 評価 | コメント |
|----------------------------------|----|--|
| (1) サービス提供の開始が適切に行われている。 | | |
| 47 ① 利用希望者に対して活動選択に必要な情報を提供している。 | a | 毎月25日に「放課GO→クラブだより」を発行してイベントの内容や子どもたちの様子を知らせています。ホームページでもおたよりが見られるようにしています。イベントの様子やスタッフ紹介などを廊下に貼りだすことで、学校の関係者や保護者にも当施設の様子を知ってもらえるように取り組んでいます。学校との連携のもと、新一年生の説明会では、おたよりと利用申込書を配布して説明する時間を設けています。入学前には保育園とも連携して子どもたちがスムーズに利用できるように配慮しています。 |
| 48 ② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。 | a | |

III-4 サービス実施計画の策定

| 評価項目 | 評価 | コメント |
|---------------------------------|----|---|
| (1)利用者に対するサービス実施計画が策定されている。 | | |
| 49 ① サービス実施計画を適切に策定している。 | a | 月例ミーティングでは、サービス実施計画の振り返りや見直しを行い、安定した運営を目指すとともに、翌々月の内容の検討として計画書を策定し提出しています。リーダー会議には他区のリーダーも参加することで、情報の共有に努めています。また、子ども会議の実施や、保護者との交流の中から要望をくみ取るなど、子どもや保護者の意見が反映されるような評価、見直しが行われています。 |
| 50 ② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。 | a | |

IV 放課GO→クラブの活動に関する事項

| 評価項目 | 評価 | コメント |
|---|----|--|
| (1) 遊びの環境整備 | | |
| 51 ① 遊ぶ際に守るべき事項(きまり)が、利用者に理解できるように決められている。 | a | 守るべき決まりは、子ども達に分かるよう室内に掲示して確認出来るようにしています。玩具が置いてある場所には写真を掲示して、元の場所に片付けがしやすいように工夫しています。学期毎に行われる子ども会議では、子どもの発想やアイデアを聞くことで、ルール作りやイベントの内容に反映させています。当施設は、学校から2部屋を借りて活動をしているので、休憩できるふれあいスペースはありませんが、特別な配慮が必要な子どもが落ち着かない時などは、パーテーションを使って仕切りを作り対応しています。誕生日やイベント時には、多目的ホールを借りて活動の場を作っています。 |
| 52 ② 利用者が自発的かつ創造的に活動できるように環境を整備している。 | a | |
| 53 ③ くつろいだり、休憩したりするふれあいスペースを作っている。 | a | |
| (2) 保護者への対応 | | |
| 54 ① 保護者同士が交流する機会が設けられており、保護者が企画や運営に参加している。 | a | 保護者会では、参加している保護者の方の意見を聞く時間を設け、話す時間を作ることで保護者同士が交流できるような機会を設けています。また、PTA主催のお祭りに参加したり、年1回、茶道教室の総仕上げとしてお茶会を実施し、案内通知書も配ることで多くの保護者が関われるきっかけを作っています。 |
| (3) 児童への対応(核となる学童クラブ活動) | | |
| 55 ① 職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助している。 | a | 学童に登録する際の面接で個々の家庭状況を把握し、月例ミーティングや日々のミーティングで職員間で情報共有を行い、学校と連携を取って支援するようにしています。子ども同士のけんかやトラブルがあった場合は、統括リーダーに報告し、迅速に対応し、学校とも情報共有しながら解決にあたっています。特別支援学級に通っている子どもには、指導員がそばに寄り添い、保護者とも丁寧に連絡を取りながら個別対応をしています。支援学校で行われる学校公開や授業参観などには積極的に参加するようにし、いつでも連携できる体制を整えています。国籍の違いは、港区という地域の特性上、理解は見られるようですが、昨年度対応したおいのりが必要な子どもには、時間になったらパーテーションの中で行うように配慮もしました。宗教上の理由でおやつの内容に制限がある子どもには、おやつを持参してもらおうようにしています。外部講師をお願いをして、音楽クラブや美術クラブを行っていますが、今年度はスポーツクラブを廃止し、代わりに毎月色々なスポーツを楽しむようイベントを行うようにしました。 |
| 56 ② 職員が個別・集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている。 | a | |
| 57 ③ 障害の有無や国籍の違いを超えて、児童と一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われている。 | a | |
| 58 ④ 行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の自主性・主体性を育てることを意識して企画されている。 | a | |

| | | |
|------------------|--|---|
| (4) 利用者からの相談への対応 | | |
| 59 | ① 利用者からの相談への対応が自然な形で行われている。 | a |
| 60 | ② 虐待を受けた児童や不登校児への支援体制が整っている。 | a |
| (5) 障害児への対応 | | |
| 61 | ① 障害のある児童の利用に対応する支援策が整っている。 | a |
| (6) 地域の子育て環境づくり | | |
| 62 | ① 住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進している。 | a |
| 63 | ② 地域社会で児童が安全に過ごせるような取り組みをしている。 | b |
| (7) 広報活動 | | |
| 64 | ① 広報活動が適切に行われている。 | a |
| 65 | ② 放課GO→クラブの活動内容をわかりやすく知らせ、利用促進につながるように創意ある広報活動が行われている。 | a |